

糖尿病ハイリスク者・糖尿病疑いの者への 継続した支援へ向けて

～市町村の健康診断後の医療機関と市町村の連携強化に取り組む～

○村岡涼子¹⁾、塩田栄子²⁾、蛸原夕起子³⁾、西田敏秀²⁾
日南保健所¹⁾、高鍋保健所²⁾、健康増進課³⁾

I はじめに

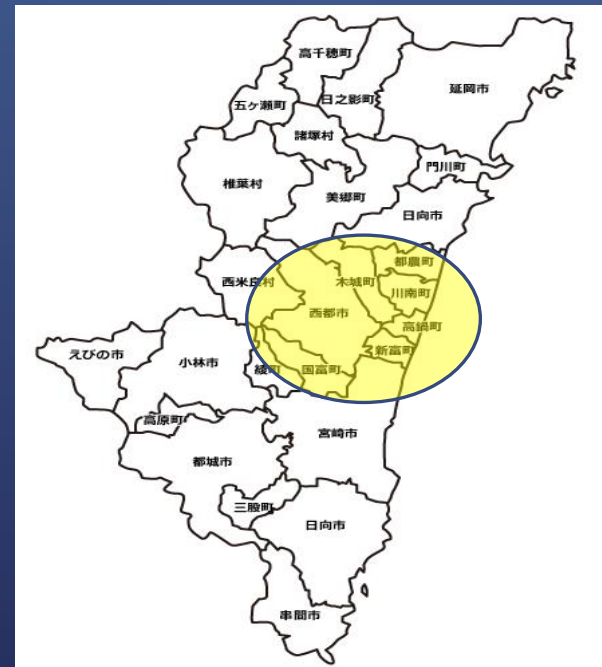
西都児湯（高鍋保健所）管内の医療事情

医師会 西都市西児湯医師会（西都市・西米良村）
児湯医師会（高鍋町・新富町・木城町・川南町・都農町）

内科系診療所 ・ ・ 人口10万対 38.5
※ 県 39.0

糖尿病専門医 ・ ・ 1名

透析医療機関数 ・ ・ 6機関
(人口10万対 16.1)
※ 県 18.1



糖尿病対策のこれまでの歩み

平成28年度

- 【国】糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定（日本医師会・日本糖尿病対策推進会議、厚労省）を締結
- 【国】糖尿病性腎症重症化プログラム策定

平成29年度

- 【県】宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針を策定（協同策定：宮崎県医師会、宮崎県歯科医師会、宮崎県糖尿病対策推進会議、宮崎県保険者協議会、宮崎県健康づくり推進センター等）

平成30年度

- 【県】宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会の設置（以後、毎年開催）
- 【西都児湯】管内医師会員へ県版指針を配付（医師会に協力依頼）

令和元年度

- 【国】糖尿病性腎症重症化プログラム改訂
- 【西都児湯】市町村による医療機関への事業説明

令和2年度

- 【県】宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針を改訂（各団体の役割明確化・評価指標の明確化）
- 【県】モデル事業を実施。（糖尿病連携手帳を活用したモデル事業を西諸県管内で実施）
- 【西都児湯】西都・児湯医療圏 糖尿病発症等予防対策事業連絡会を設置

西都児湯医療圏 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防対策 連絡会 (構成団体)

医 師 (4 団体 : 5 名)

西都市西児湯医師会 (医師 1 名)

児湯医師会 (医師 1 名)

宮崎県糖尿病対策推進会議 (医師 2 名※令和 4 年度より専門医 1 名を含む)

宮崎県慢性腎臓病対策推進会議 (医師 1 名)

市町村 (7 市町村)

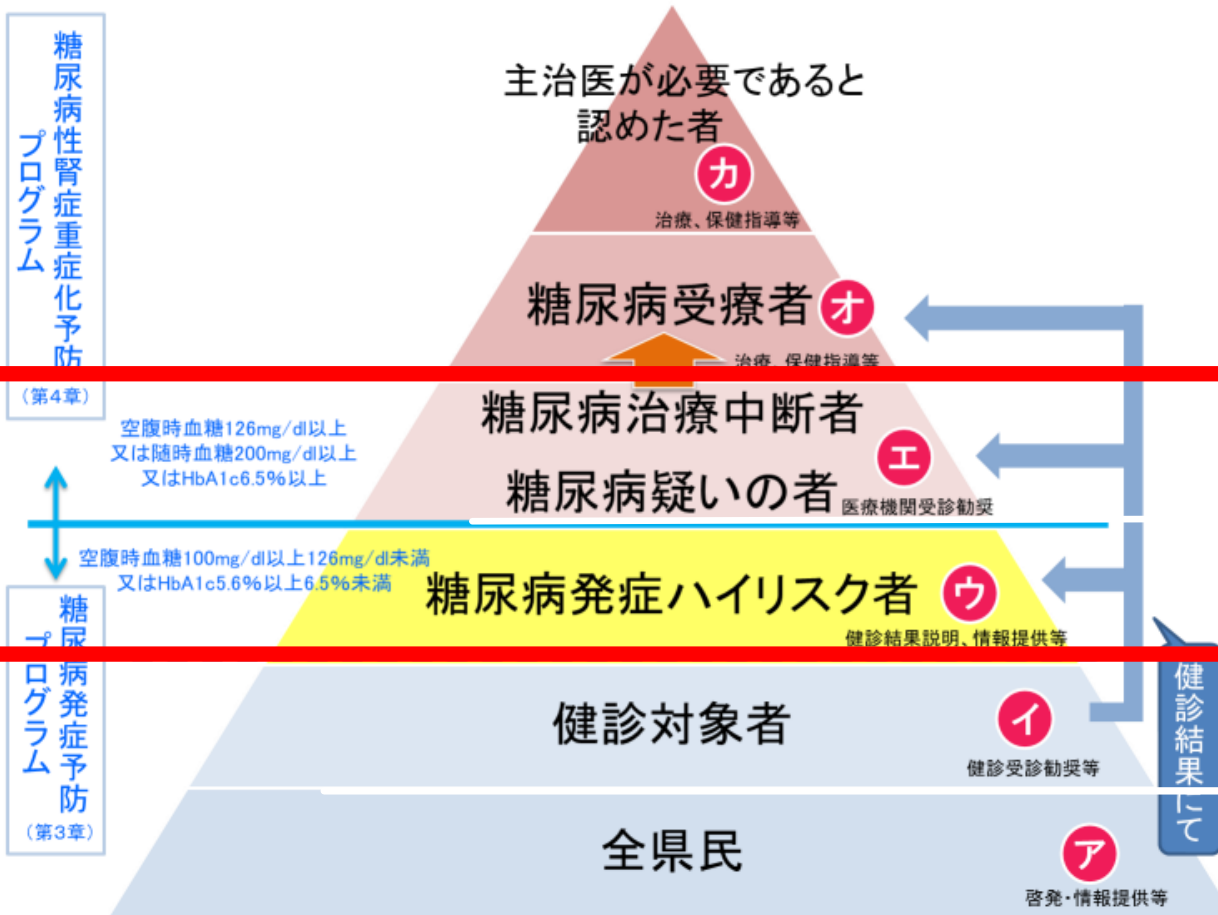
※健診担当及び健康保険担当

西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町

保健所

高鍋保健所

糖尿病の各段階別対象者数（西都児湯管内）



Ⓚ 1,506人 (8.4%) 県：8.3%

Ⓛ 7,431人 (41.5%) 県：42.6%

Ⓜ 46,753人

※健診受診者 17,908人

(受診率38.3%)

県受診率：34.2%

糖尿病通院患者について（医療機関調査）

（宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業に係る調査結果 令和3年度実績より）

保険者への保健指導指示書の送付したことのある医療機関

有無	西都児湯	宮崎県
二次医療圏		N=173 (R2) N=186 (R3)
R2	0	33 (19.1%)
R3	1	43 (23.1%)

※N = （保健指導指示書を知っていると回答した医療機関）

宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業に係る調査 (市町村)

(宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業に係る調査結果 令和3年度実績より)

医療機関からの連絡を受け、市町村で初回面接を実施した数

	西都児湯		宮崎県	
	① 医療機関⇒市町村へ 連絡があったケース	② 市町村で 初回面談実施	① 医療機関⇒市町村 へ 連絡があったケー ス	② 市町村で 初回面談実施
R1	3	0 (0.0%)	1 2 6	8 5 (67.5%)
R2	—	—	1 3 6	1 0 8 (79.4%)
R3	—	—	2 6	2 1 (80.8%)

Ⅱ 活動内容および対象

活動期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日

内容：①アンケート調査

②研修会実施

③連絡会実施

④連絡会医師との連絡調整

① アンケート調査

【対象】

管内の内科標榜医療機関41機関

【内容】

医療機関と行政との情報共有について

(1) 市町村の健康診断受診後の方の医療機関での対応について、教えてください

質問	回答 (該当の者の口にチェックしてください)
① 健診で糖尿病疑いとなったケースの受診はありましたか？	<input type="checkbox"/> あった →②、③へ <input type="checkbox"/> ない → (2) へ
*上記①で受診ありと回答の方に質問です。 ② ①で診断した結果について教えてください。 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 要治療 <input type="checkbox"/> 自院で経過観察 <input type="checkbox"/> 他院 (専門医) へ紹介 <input type="checkbox"/> 医療機関での経過観察不要 <input type="checkbox"/> その他 ()
*上記①で受診ありと回答の方に質問です。 ③ 市町村に情報提供しているのは、次のどのケースですか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 要治療の者 <input type="checkbox"/> 自院で経過観察の者 <input type="checkbox"/> 他院 (専門医) へ紹介した者 <input type="checkbox"/> 医療機関での経過観察不要 } → ④ <input type="checkbox"/> 情報提供していない → ⑤ <input type="checkbox"/> その他 ()
*上記③で情報提供しているケースがあったと回答の方に質問です。 ④ 情報提供の方法について教えてください。 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 健康診断結果についていた回答書 <input type="checkbox"/> 自院独自の情報提供書 <input type="checkbox"/> 糖尿病手帳 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 ()
*上記③で「情報提供していない」と回答の方に質問です。 ⑤ ③で情報提供しなかった理由を教えてください。	<input type="checkbox"/> 情報提供の用紙がない <input type="checkbox"/> 市町村での対応内容が分からなかったため <input type="checkbox"/> その他 ()

(2) 糖尿病 (疑いも含む) 方への市町村の対応について、意見を御回答ください

質問	回答 (該当の者の口にチェックしてください)
① 市町村で保健指導・栄養指導等をしてほしいのは、次のどのケースですか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 要治療者 <input type="checkbox"/> 自院で経過観察中の者 <input type="checkbox"/> 医療機関での経過観察不要の者 <input type="checkbox"/> その他 ()

(3) 糖尿病手帳について、御回答ください。

質問	回答 (該当の者の口にチェックしてください)
① 糖尿病 (疑いも含む) の方に糖尿病手帳を配布していますか？	<input type="checkbox"/> 配布している <input type="checkbox"/> 配布していない
*配布していないと答えた方へ ② 糖尿病手帳を配布していない理由を教えてください。	<input type="checkbox"/> 院内に手帳がない <input type="checkbox"/> 手帳の使い方がわからない <input type="checkbox"/> 手帳の効果がわからない <input type="checkbox"/> 手帳を配布する対象患者がいない <input type="checkbox"/> その他 ()

②研修会実施

【対象】

糖尿病治療に係る医療機関、市町村の糖尿病対策関係者

【内容】

講演および意見交換会 ※講演会の内容：医療機関と市町村との連携の実際

【講師】

日本糖尿病対策推進会議地区担当委員（宮崎県代表）の医師

③連絡会の実施

【内容】 市町村と医療機関の連携について

※①のアンケート調査と②の研修会のアンケート結果を用いて管内の課題について協議を行い、連携における課題について検討。

④ 連絡会医師との連絡調整

- ・ 保健所と連絡会医師との関係づくりのため、医師への訪問及び電話連絡を実施。
- ・ 市町村と連絡会医師との関係づくり促進のため、市町村との同伴訪問等を実施。

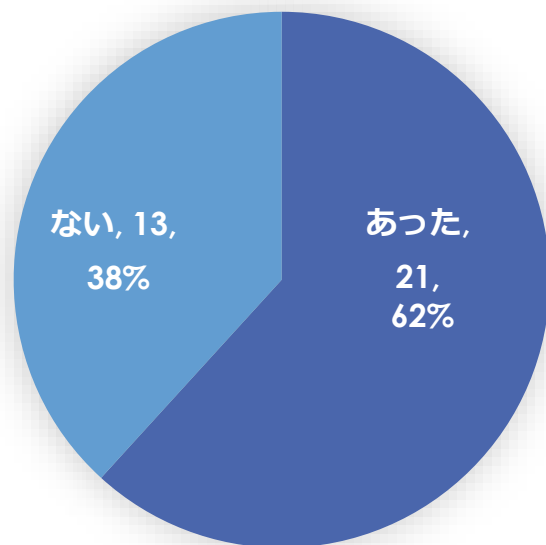
III 結果

① アンケート調査

アンケート回収率 82.9% (34/41)

糖尿病疑いケースの受診

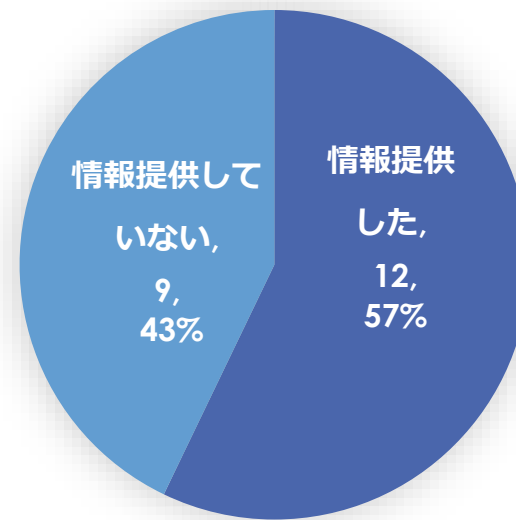
受診の有無



■あった ■ない

ケース情報の市町村への情報提供

情報提供の有無 (N=21)

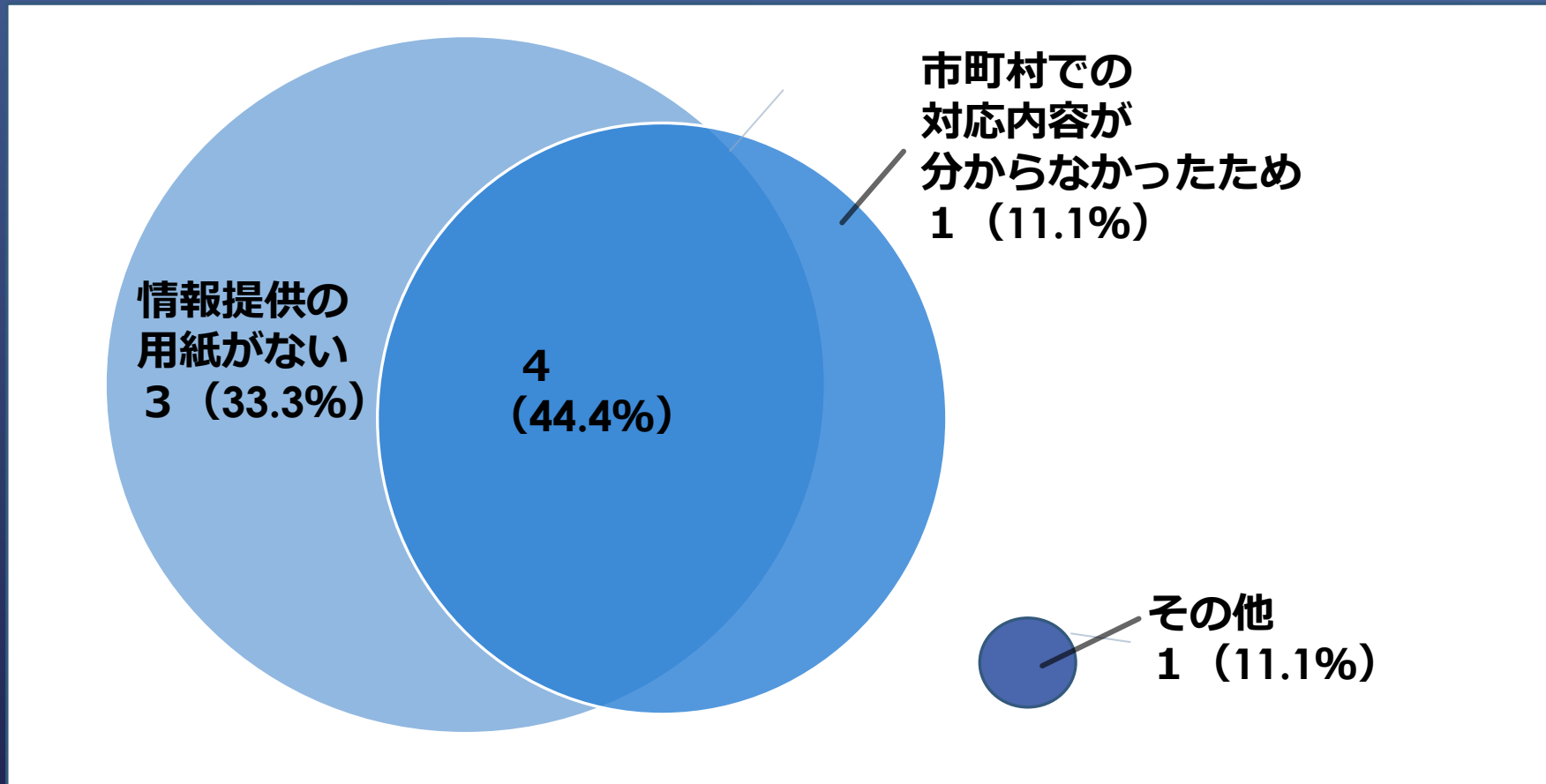


■情報提供した ■情報提供していない

市町村への情報提供しなかった理由は？

「情報提供の用紙がないこと」や「市町村対応がわからないこと」が情報提供しない理由

N=9 ※情報提供を行わなかった9医療機関



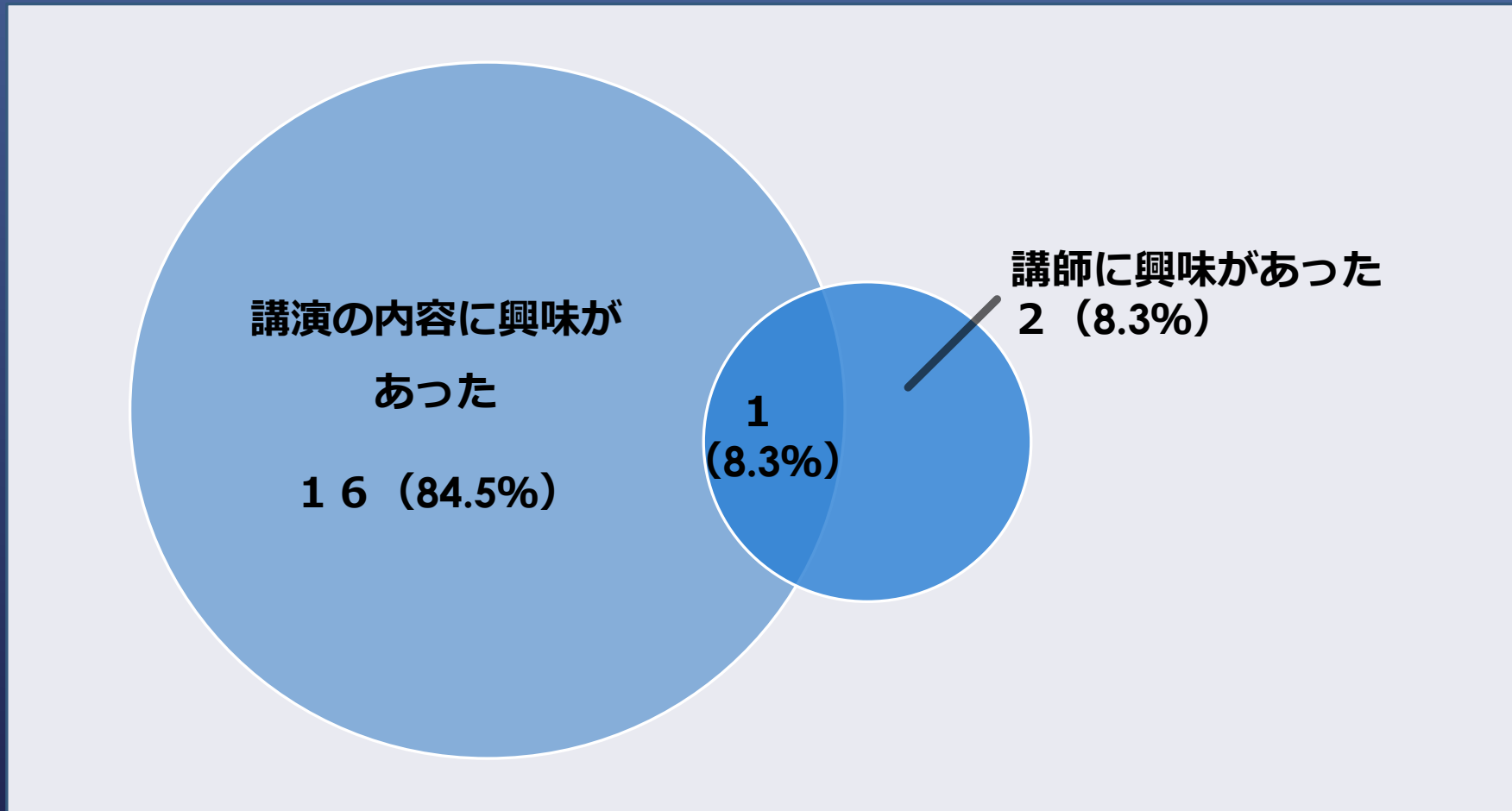
市町村での糖尿病対策の内容が
医療機関へ周知できていないことにより、
情報提供の意欲低下を招いていることが
明らかとなった。

② 研修会

(受講者：11医療機関、7市町村の計27名)

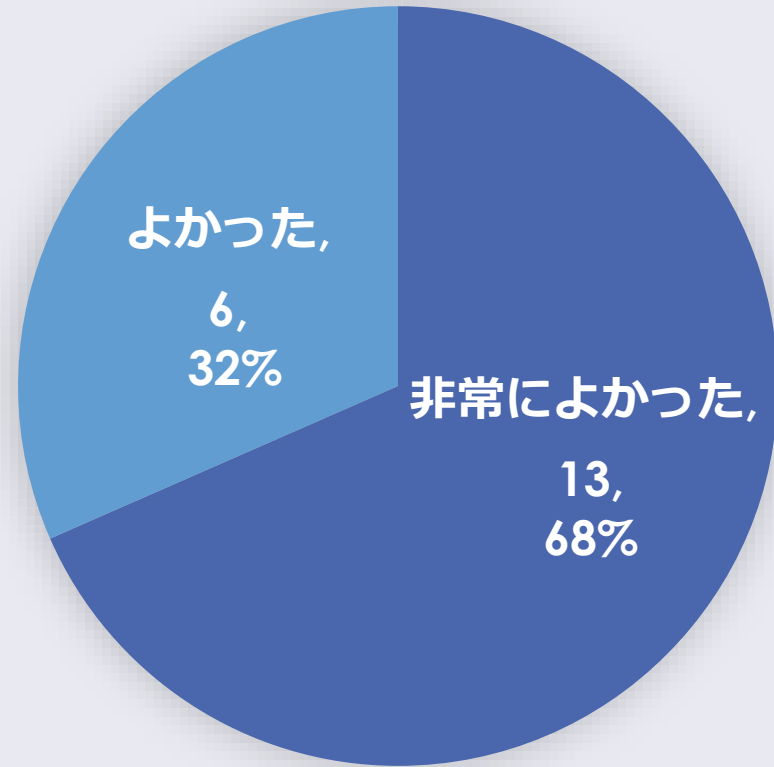
参加者の講演会への参加動機

N=19



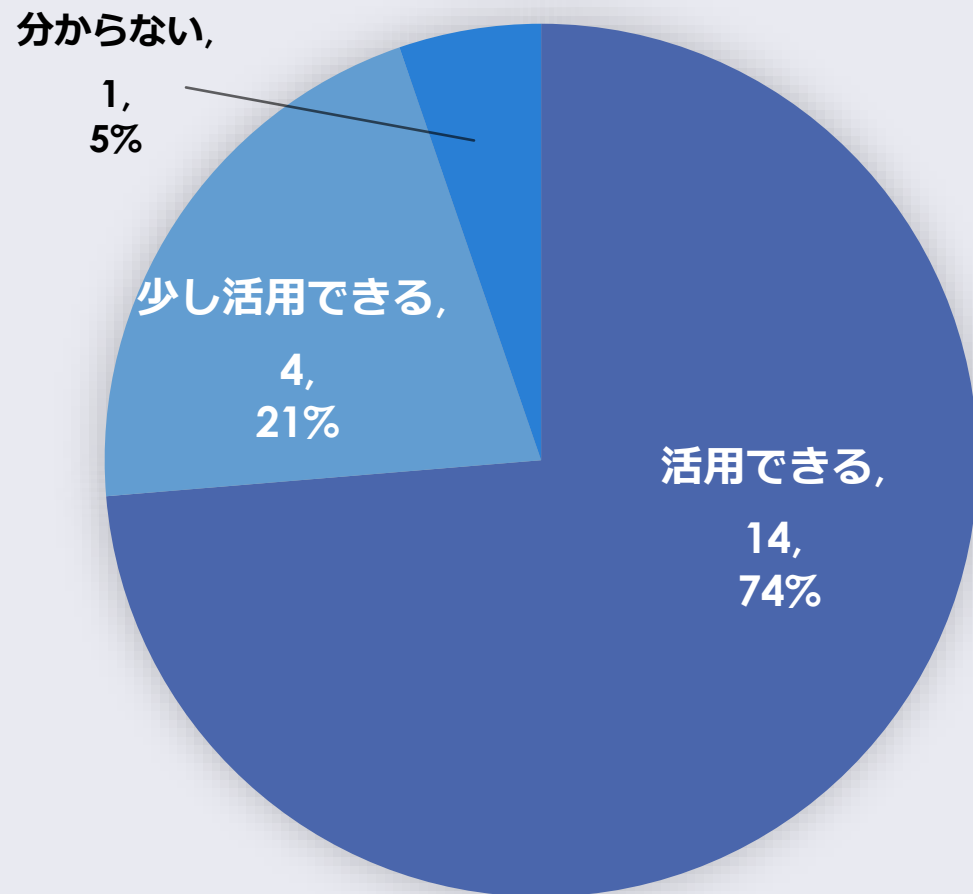
参加者の講演会内容への評価

N=19



■非常に良かった ■よかった ■あまりよくなかった ■よくなかった

講演内容の今後の業務の中での活用



■ 活用できる

■ 少し活用できる

■ 分からない

医療機関	保健指導・栄養指導との連携の仕組みがよくわかった リーダーシップをとる組織が必要 顔の見える関係性が必要
市町村	先生方の意見も聞いて良かった 連携方法を具体的に聞くことが出来て良かった 町内の先生方のところに行こうと思います

自由記述も多く、
内容も管内の連携
に関する積極的な
意見であった。

③連絡会の実施

連携を進める上で、市町村の糖尿病対策への取組みについて周知を強化するとともに、連絡会医師と保健所・市町村と顔の見える関係づくりが必要であることが明らかとなった。

(連絡会委員からの主な意見)

- ・市町村の取組みや部署、受診勧奨の方法やデータなどが分からない。
- ・連携よりも健診受診率を上げていくことが必要ではないか。
- ・糖尿病の怖さを受診勧奨者へ伝えていくことが必要。
- ・市町村での個別での栄養指導のシステムあると、重症化予防に効果的ではないか。

④連絡会医師との連絡調整

何度も訪問や連絡を行ううちに、連絡会医師と多くの意見を交換することができるようになった。その中で、連絡会医師と市町村担当者とは直接話ができる場を設けることができた。

連絡会（開催前）

電話：8回、訪問：10回

連絡会（開催後）

電話：3回、訪問：3回

市町村と連絡会医師との関係作り

市町村との同伴訪問：3回

保健所と連絡会医師との
関係づくり

IV 考察・今後の活動

今回の成果と今後の活動

- ① **地域の課題が明らかとなった**
地域の医療機関に市町村の糖尿病に対する
取組が周知できていない

《今後の取り組み》

- ・ 取組のさらなる周知
- ・ 連携の強化について継続的な意識付け



本地域の課題について、連絡会委員と協働で、
検討及び課題解決を図っていく

②市町村や連絡会医師との人間関係の構築

→各施設と意見交換をすることがより多くなった。

保健所として

医療機関と市町村との連携が円滑になるよう、市町村と医師会や関係医師との連携を更に深めていき、**保健医療連携のコーディネーター**として、顔の見える関係を構築していけるよう努めていくことが重要である。